

平成30年8月17日（金曜日）

石川県金沢市兼六元町1番1号  
一般財団法人 北陸私鉄バス労働会館  
理事長 窪田 正尚

## 事業報告書

当一般財団法人「北陸私鉄バス労働会館」は北陸地方の私鉄バス産業に働く労働者をはじめ、石川県下の産業ならびに労働に関する知識の啓発・福祉・教養の向上に努めてまいりました。

まず初めに今回の事業報告は（平成29年7月1日から平成30年6月30日）の一年間です。

収入では、本年度10,760,380円昨年度9,811,496円となり948,884円増益となっております。対比致しますと、109.67%

（収入増は一階テナント賃貸が増えた為です。）

支出では、本年度14,692,387円昨年14,958,486円となり266,099円減となっております。対比致しますと、98.22% 収入減の要因は二階テナント空室の為とおもわれます。

正味財産増減表では、平成29年度3,932,007円の減となっております。

公益目的収支差額は、今年度は1,265,950円 公益目的収支差額の合計額は、5,666,566円となっており、残額は52,950,614円。完了予定事業年度は、平成70年3月31日は変更ありません。

労働者の若年層を中心に、広く門徒開け、ホームページや北陸地連の窓口を設け、青年女性部の活動を根底とし一般の方々にも労働者の権利や教育、制度や組合活動を学ぶ機会を作り、労働者としての知識を学んでもらおうと思ってセミナーを年間7回開催してまいりました。

昨年と同額を石川県勤労者体育協会に10万円寄付し、スポーツ交流を通して労働者の福利厚生に寄与致しました

今後も当会館としての使命を果たしながら健全な事業として継続するための努力を重ねていきたいと考えております。

1. 会館運営にあたり、老朽化による修繕など極力経費節減に努めてまいりました。さらに二階テナントの入居募集にあたって来ましたがいまだ入居には至っておらず、不動産さんを仲介に入れ継続的に募集していきます。震災を契機とする電力供給不足や省エネルギー対策一環として、室内温度を夏は高め（28度）クールビズを実践し、冬は低め（20度）に設定、周知に啓蒙し、環境問題に取り組んでまいりました。
2. 青年女性部員に活動教育として、7回講座を実施し、労働運動と青年女性活動や、今後の労働活動の基礎を教育してきました。

	開催日	講座名	講師名	参加人数
1回	平成29年 7月14日(金)	労働組合と青年女性部の役割	北陸地連書記長次長 山田 洋秋	33名
2回	平成29年 9月11日(月)	組織的犯罪処罰法改正案について	岩淵 正明弁護士	33名
3回	平成29年11月10日(金)	中級労働講座「自治体議員の必要性について」	北陸会館理事長 窪田 正尚	20名
4回	平成29年12月8日(金)	交通政策基実現について	北陸会館理事長 窪田 正尚	25名
5回	平成30年1月19日(金)	18春闘方針と職場の現状について	私鉄総連総合組織局 綱川 留実	36名
6回	平成30年2月8日(木)	運輸交通産業の勤務実態及び労働行政の最近の動向について  県内の交通事故情勢と交通事故防止対策について  18春闘情勢と組織強化	石川県労働局基準監督課専門監督官 道下 豊  石川県警察本部交通部交通安全課安全兼高齢者安全対策補佐 警部 牧 良一 北陸会館理事長(北陸鉄道労働組合執行委員長) 窪田 正尚	45名
7回	平成30年4月14日(金)	育児休暇制度について	北陸地連書記次長 山田 洋秋	33名

3. 石川県勤労者体育協会に10万円寄付し、労働者のスポーツ交流を通しまして労働者の福利厚生に寄与致しました。